

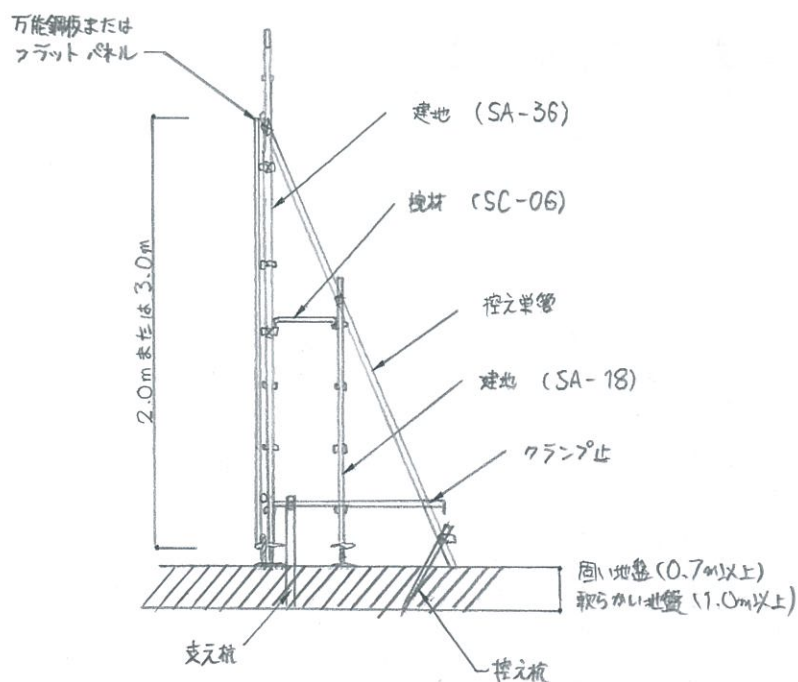
## 仮囲いの組み立て及び使用基準

### ① 組み立て基準

万能鋼板、フラットパネルを設置する時、または、ダンププレートパネル・網パネルを使用し3段(2.7m)の高さ3mの場合は600巾本足場組とする。高さ2mの場合は千鳥組としても良い。

支え杭は足場側と方杖側ともに1.3m以上の鋼管を用いて0.7m以上の深さに重機で打ち込む事。硬い地盤の場合は担当者の指示で方杖を1スパン置きとしても良い。人力(掛矢など)で打ち込める様な軟らかい地盤の場合は、毎スパン方杖を設け、長さ1.5m以上の支え杭に根巻きコンクリートを打設することで、深く打ち込む代わりとしても良い。

足場側と方杖を繋ぐ根がらみを設ける。また、コーナーには火打ちを設ける。



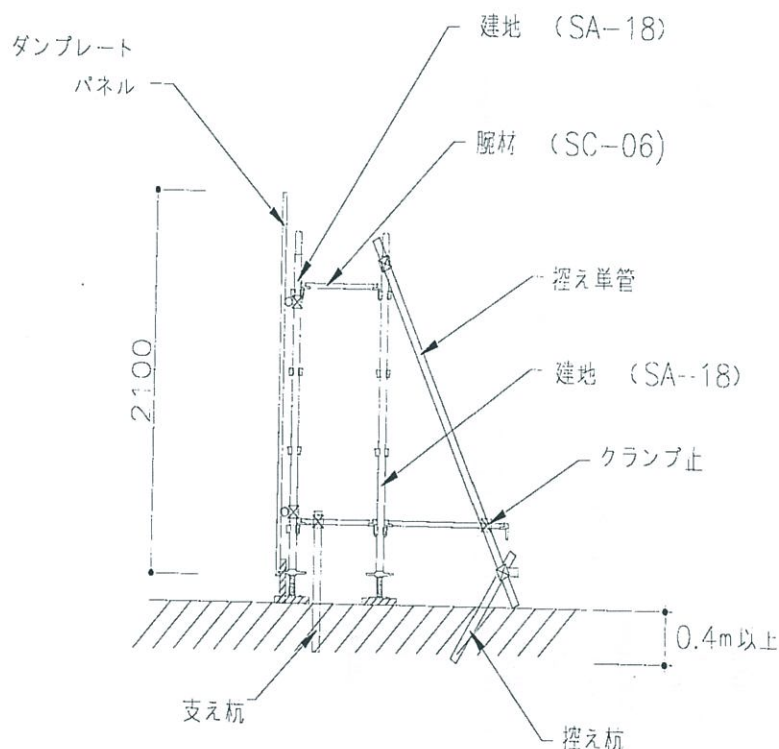
## ② ダンププレートパネル・網パネルを2段以下で設置する場合

600巾本足場組または千鳥組とする。

支え杭は足場側と方杖側ともに長さ0.7m以上の鋼管を用いて0.4m以上の深さに打ち込む。また、硬い地盤の場合は方杖を1スパン置きとしても良い。軟らかな地盤の場合は、毎スパン方杖を設けていく事。

アスファルトやコンクリート面では鉄筋杭を使用する事ができる。

また、コーナーには火打ちを設ける。



## ③ 使用基準

部材の一時的取り外しについて、原則として行ってはならない。

建設用機械の通行や作業のため、やむをえず部材を取り外す時は、変形・倒壊等が無いことを事前に確認するとともに、当該作業が終了した後は、直ちに原状復帰させること。